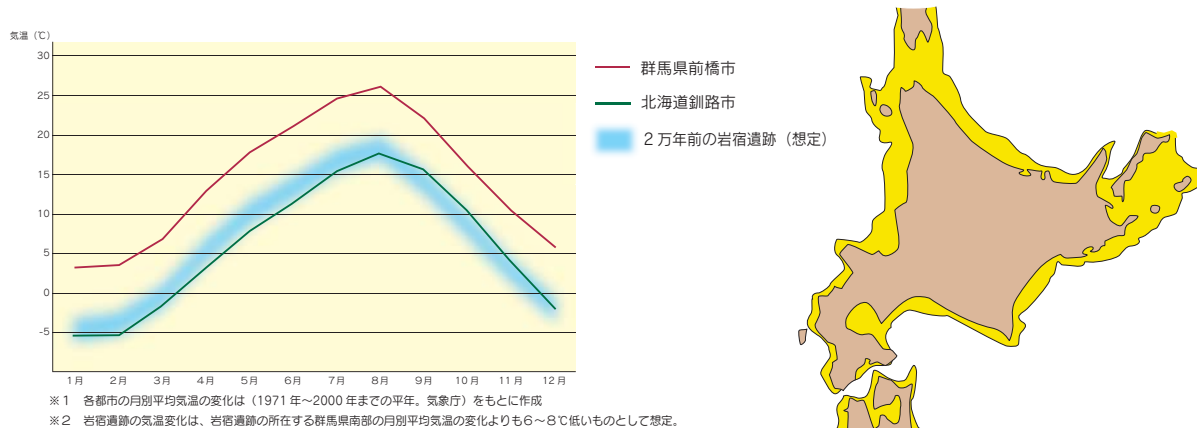


II-2

どんな気候だったのだろうか？

今から1.4万年以上前の岩宿（旧石器）時代は、現在よりも気温が寒い氷河時代でした。この氷河時代はずっと寒かったのではなく、寒い時期と比較的暖かい時期があったようです。今から約2万年前が最も寒く、現在よりも7・8度寒かったといわれています。岩宿遺跡は標高140メートルですが、現在の赤城山中の覚満淵や尾瀬ヶ原（標高1400メートル）、標高が同じであれば北海道の釧路あたりの気候に近いそうです。

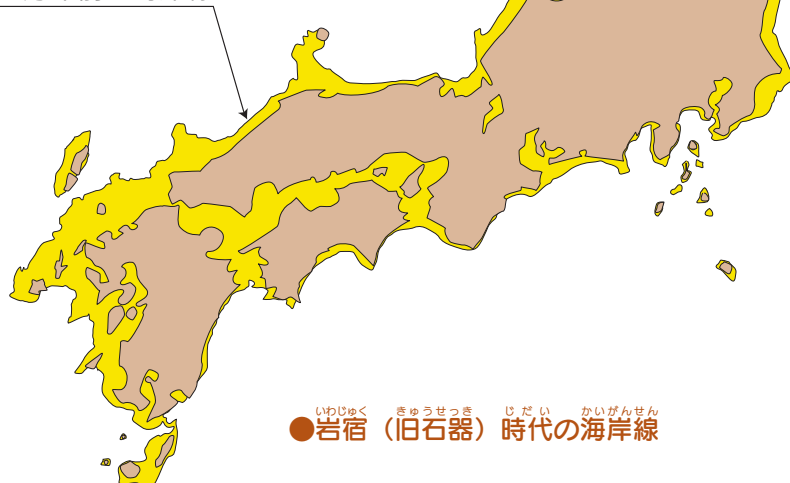
氷河時代には、高い山に氷河ができ、南極や北極では氷が厚くなりました。そのため、地球全体の海面が低くなり、現在より100メートル以上も海の水位が下がったと考えられています。日本列島周辺に陸地ができ、東京湾や瀬戸内海も陸地になっていました。



●岩宿（旧石器）時代と現在の気温の変化

約2万年前の群馬県南部は、現在の釧路付近の気温に近かったようだ。10月下旬から4月末までの半年が冬だったことになる。

約2万年前の海岸線



●岩宿（旧石器）時代の海岸線

●東京湾はなかった？

最も寒い時期、東京湾は陸地でその中央には川（古東京川）が流れていた。